



家庭通信 11月号

2025 年 10 月 31 日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等も HP でご確認ください

多摩市内の紅葉も始まり、園庭で実った柿が美味しそうに色づき食べごろになり、秋の深まりを感じます。園庭の大きいどんぐりは、ままごとのお料理の材料として役目を発揮し、シイタケ栽培の原木は今年の暑さで上手く菌が育っておらず残念ながら収穫は少なくなりそうです。その原因が夏の酷暑でした。夏野菜も不作だったこともあり、子どもたちの教育活動にも地球温暖化の影響が大きく出てきています。子どもたちとの生活を考える上で自然事象から学ぶことも多いので、来年度の計画を立てるときに、栽培の時期や環境なども考えていきたいと思います。

さて、秋と言えば、何を思い浮かべるでしょう。園では目下「芸術の秋」です。小さな芸術家たちが、様々な方法で自分を表現する手立てとして、造形をしたり、身体表現をしたりして楽しんでいます。子どもたちの発想は自由で豊かです。その子どもたちの世界をのぞかせてもらうとき、特に気を付けていることは、その表現していることに良し悪しを付けて評価しないこと、「上手だね、素敵だね」とほめたり他者と比べたりしない事です。褒めることがなぜ？と思われるかもしれませんが、子どもたちに自由な表現を思いきり楽しめるようにするためには褒めたりアドバイスをしたりしない方が良いのです。なぜなら大人からの声掛けによって、他者からどう見られるかを急に気にするようになったり、折角思い切ってやっていたのに、途端にやる気をなくしてしまったりすることがあり、それはとても残念な事です。褒めるなら具体的に理由を伴わせて、結果よりも才能よりも努力したプロセスに焦点を当てて褒めることをおすすめします。

今月は「成長展」があります。0 歳児から 5 歳児までの子どもたちが日頃どのような遊びを通して成長しているのかを、実際に遊んでいるものや、園児が作っているものをそのままお見せしたり、踊りや手作り楽器などの生演奏をしてお見せします。年齢によって表現方法はさまざまです。お子様のクラスだけではなく園全体を通して子どもたちの成長を感じていただく機会としてください。また、今年はおだ学園幼稚園が創立から 50 年を迎えます。記念の年に在園している園児すべての写真を園内に飾りますので合わせてご覧ください。職員は 50 周年を記念して作ったオリジナル T シャツを着て皆さまをお迎えいたします。

保護者の方有志による「おだフェス」も楽しみです。どうぞ、よろしくお願いします。

11月のねらい

<年長>

- ・進んで戸外で遊び、十分に身体を動かしたり、ルールのある遊びの面白さを味わったりする
- ・友達と考えや思いを出し合い協力したり、分担したりしながら目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう
- ・身近な自然の美しさや季節の移り変わりに気づき、生活や遊びに取り入れながら、興味関心を深めていく

<年中>

- ・健康に過ごすために必要な習慣が分かり自分から進んで行おうとする
- ・戸外で伸び伸びと体を動かしながら色々な遊びをやってみようとする
- ・気の合う友達と誘い合い、場を作ったり、遊び方を決めたりして、自分たちなりに遊びを進めようとする
- ・色々な友達と関わり、一緒に遊ぶ中で、相手にも思いや考えがある事を知り、耳を傾けようとする

<年少>

- ・身の回りのことを丁寧に行おうとする
- ・保育者や友達と同じ場で一緒に身体を動かす事を楽しむ
- ・色々なものになりきってごっこ遊びを楽しむ
- ・素材に触れながら、自分なりに作ったり見立てたりすることを楽しむ
- ・保育者や友達に自分の気持ちや思っている事を言葉で伝えようとする

<2 歳児>

- ・秋の自然物に触れたり集めたりし、それを使って遊ぶことを楽しむ
- ・遊びや生活の中で、言葉で相手に自分の気持ちを伝えてみようとする
- ・手洗いやうがい、鼻をかむなど、保育者の見守りの中で自分でやってみようとする

<1 歳児><0 歳児>

0.1 歳児は個別のねらいを立てています